

平成 21 年第 3 回
利根町議会定例会会議録 第 5 号

平成 21 年 9 月 16 日 午前 10 時開議

1. 出席議員

1 番	能 登 百合子 君	8 番	今 井 利 和 君
2 番	西 村 重 之 君	9 番	五十嵐 辰 雄 君
3 番	欠 員	10 番	会 田 瑞 穂 君
4 番	守 谷 貞 明 君	11 番	飯 田 勲 君
5 番	高 橋 一 男 君	12 番	岩 佐 康 三 君
6 番	中 野 敬江司 君	13 番	高 木 博 文 君
7 番	欠 員	14 番	若 泉 昌 寿 君

1. 欠席議員

な し

1. 説明のため出席した者の氏名

町 長	遠 山 務 君
総 務 課 長	福 田 茂 君
企 画 財 政 課 長	秋 山 幸 男 君
税 務 課 長	矢 口 功 君
町 民 生 活 課 長	高 野 光 司 君
健 康 福 祉 課 主 幹	村 田 啓 子 君
経 済 課 長	石 井 博 美 君
都 市 建 設 課 長	飯 田 修 君
会 計 課 長	蓮 沼 均 君
教 育 長	伊 藤 孝 生 君
教 育 委 員 会 事 務 局 長	鬼 沢 俊 一 君
水 道 課 長	飯 塚 正 夫 君

1. 職務のため出席した者の氏名

議 会 事 務 局 長	木 村 克 美
書 記	蛭 原 一 博
書 記	坂 本 隆 雄

1 . 議事日程

議 事 日 程 第 5 号

平成 2 1 年 9 月 1 6 日 (水曜日)

午前 1 0 時開議

- 日程第 1 議案第59号 平成20年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 2 議案第60号 平成20年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 3 議案第61号 平成20年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 4 議案第62号 平成20年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 5 議案第63号 平成20年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 6 議案第64号 平成20年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 7 議案第65号 平成20年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 8 議案第66号 平成20年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件
- 日程第 9 議案第67号 平成20年度利根町水道事業会計決算認定の件
- 日程第10 議員提出議案第 3 号 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書
- 日程第11 請願第 1 号 「気候保護法（仮称）」の制定を求める請願書
- 日程第12 常任委員会の閉会中の所管事務調査の件
- 日程第13 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件

1 . 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 議案第59号
- 日程第 2 議案第60号
- 日程第 3 議案第61号
- 日程第 4 議案第62号
- 日程第 5 議案第63号
- 日程第 6 議案第64号
- 日程第 7 議案第65号
- 日程第 8 議案第66号
- 日程第 9 議案第67号
- 日程第10 議員提出議案第 3 号
- 日程第11 請願第 1 号

日程第12 常任委員会の閉会中の所管事務調査の件

日程第13 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件

午前10時00分開議

○議長（若泉昌寿君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

○議長（若泉昌寿君） 日程に入る前に、諸般の報告を行います。

決算審査特別委員会委員長から委員会審査報告書が提出されております。その写しをお手元に配付してあります。

次に、議員から議案が提出されておりますので、報告させます。

議会事務局長木村克美君。

〔議会事務局長木村克美君登壇〕

○議会事務局長（木村克美君） 本日、議員から追加議案が提出されましたので、ご報告申し上げます。

議員提出議案第3号 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 報告が終わりました。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

これから議事日程に入ります。

○議長（若泉昌寿君） 日程第1、議案第59号 平成20年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） おはようございます。

平成20年度の決算審査について、特別委員会の審査報告を行います。

特別委員会は、9月9日より10、11、14日の4日間にわたり、全員が出席し、町長、教育長、課長、担当職員の出席を求め、慎重な審議が行われました。その結果、原案を認定するものとして決定いたしましたので、会議規則第77条の規定により報告をいたします。

報告の中では、予算に関しましては割愛し、決算のみで報告させていただきます。よろしく願いいたします。

議案第59号 平成20年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件について報告をいたします。

平成21年9月4日に付託されました一般会計歳入歳出決算は、歳入では款1町税から款20町債まで、歳出では款1議会費から款12予備費まで、慎重な審議を行いました。

審査の結果を申し上げます。

歳入総額は54億6,166万448円、歳出総額は52億7,730万255円、差し引き残額は1億8,436万193円となりました。執行率は88.94%です。この低執行率の理由は、款2総務費、項1総務管理費の2億8,650万3,744円、款3民生費の項2児童福祉費763万2,936円、款7土木費、項2道路橋梁費の7,845万円、項3河川費の1億1,437万2,000円、項4都市計画費の5,236万5,000円の翌年度繰り越しによるものです。

それでは、款1議会費について報告します。

支出済額9,716万1,554円で、執行率は97.97%です。不用額は201万445円で、その理由は議事録、議会録音テープの委託を安価で行ったためです。会期日数は53日、本会議日数19日、一般質問総数38人、傍聴者数320人でした。「議会だより」は4回発行され、全戸に配布され、議員の活動状況を住民に周知しました。

款2総務費は、支出済額7億4,298万100円です。執行率は70.44%です。低執行率の理由は、翌年度繰越額2億8,650万3,744円によるもので、不用額は2,522万3,156円です。主な不用額の理由は、項1総務管理費の1,766万8,231円で、人事評価研修委託で委託料を安価で行ったこと、また例規改正が少なかったこと、項2徴税費616万5,723円で、例年より過誤納還付金が少なかったためです。

具体的には、項1総務管理費が5億174万2,025円で、目1一般管理費で職員管理等以外に、AED、自動体外式除細動器を町公共施設や各小中学校に14台を設置したほか、防犯灯修理306カ所、新設4カ所を行いました。

目2秘書広聴費は1,301万6,865円、内容は37行政区の区長、班長への報酬700万8,325円と、「広報とね」、年間12回、6,300部の発行と利根町公式ホームページの作成等で497万4,925円が中心です。

目5財産管理費は6,996万9,212円、庁舎管理費の3,953万2,890円、光熱費等委託料、供用備品管理が中心です。

目6企画費2,132万9,270円は、デマンド型乗り合いタクシー運行事業で1,063万6,699円を支出、登録者数832件、利用者は一般2,916人、小学校送迎が8,685人です。また、稲敷地方広域市町村圏事務組合分賦金841万8,000円が支出されています。

目7交通安全対策費は187万7,750円、年4回のパトロール、通学路の立哨、交通安全教室等を開催しました。

目8行政事務改善費2,126万7,817円は、電子自治体推進事業に2,119万9,418万円がほとんどで、行政サービスと事務の効率化を図るためにパソコン51台の更新ほか、庁内システムの基盤整備強化を図りました。

項2徴税費は1億6,872万3,277円、内訳は、目1総務費1億185万8,562円と目2賦課徴

収費5,486万4,715円でした。項3 戸籍住民登録費7,192万2,710円は、職員給与費4,761万2,325円と戸籍事務費で住民登録費の委託とシステムの賃借料がほとんどで、平成21年度からスタートする旅券窓口事務の準備で125万5,719円を支出しました。また、平成20年度証明書交付件数は合計で2万1,515件、戸籍届け出総数は1,112件、窓口延長による証明書の発行は168人に対し330件交付しました。

款3 民生費は、支出済額11億670万622円で、執行率は97.11%で、763万2,936円の翌年度繰越額があります。不用額は2,529万442円です。主な不用額の理由は、項1 社会福祉費の2,421万5,221円で、補助金の重度障害者住宅リフォーム助成事業の申請が少なかったためです。

内容は、項1 社会福祉費で8億1,699万4,772円、目1 社会福祉総務費が2億5,665万3,439円、主な支出は職員給与費9,105万5,703円、委託料1,348万4,374円、障害福祉サービス事業を中心とした扶助費1億2,159万8,430円などです。この予算で、障害者に対するさまざまな支援の事業や社会福祉協議会補助金2,187万5,000円を活用した介護や地域福祉の推進のための活動が展開されています。

目2 老人福祉費979万1,558円で、単位老人クラブや老人クラブ連合会の活動の助成など、老人福祉を推進するための活動や老人ホーム入所措置事業などに取り組んでいます。

目3 国民年金事務費1,049万5,255円で、加入者、受益者に対する窓口での年金相談を行い、年金給付権の確保に努めました。国民年金被保険者数は、平成21年3月末現在、被保険者総数4,480人、内訳、第1号被保険者数3,012人、任意加入被保険者数76人、第3号被保険者数1,392人です。

目5 医療総務費1億2,540万9,744円、内訳は、職員給与費1,400万3,404円、国民健康保険特会への繰出金9,190万3,974円と老人保健特会繰出金1,782万円となっています。

項6 の医療福祉費6,994万7,841円は、医療福祉事業に支出され、目8 介護保険費1億1,748万8,027円。内訳は、介護保険特別会計繰出金1億1,657万4,000円がほとんどです。

目10 保健福祉センター費1,308万9,030円は、職員給与費6,321万2,811円、運営事業費1,807万347円で、福祉バス運行業務委託を含んでおります。介護サービス事業特別会計繰出金は57万8,000円です。福祉バスの利用状況は、延べ人数は2万2,707人、1日当たり93.4人です。

目11 後期高齢者医療費1億4,296万9,551円は、職員給与費1,414万1,551円と後期高齢者医療特会繰出金1億2,882万8,000円です。

項2 児童福祉費2億8,970万5,850円は、目2 児童措置費2億7,920万1,330円が中心で、保育所委託料支給事業1億5,935万5,800円、保育所補助金事業2,515万4,390円、児童手当交付事業として扶助費で児童クラブ推進事業費771万4,141円は全額放課後児童対策事業となっています。布川、文、文間の3小学校で、開設日数239日、21人の指導員を配置、延べ760人の児童への保育を行いました。

款 4 衛生費は 6 億 4,292 万 2,737 円の支出額で、執行率は 98.95%、不用額は 1,273 万 1,263 円。不用額の理由は、項 1 保健衛生費の 853 万 355 円と項 2 清掃費 420 万 905 円です。この項 1 保健衛生費は町民健康診断、予防接種の委託料が少なかったこと、項 2 清掃費ではごみ収集量と資源回収量が見込みより少なかったためです。

具体的には、項 1 保健衛生費 1 億 1,362 万 5,645 円は、保健衛生総務費 5,409 万 9,689 円の職員給与と包括医療救急医療確保のための保健衛生事務費、妊娠から就学前までの母子一貫管理を行う母子保健事業です。

目 2 予防費 3,035 万 8,562 円は、健康寿命の延伸を目的に健康教育、健康相談等を実施、健康診断は 3,458 人が受診、予防接種を 3,045 人に実施するなど、各種疾病予防を目指しました。

項 2 清掃費、総額 5 億 2,929 万 7,092 円は、目 1 清掃総務費 5,343 万 6,657 円の内訳は職員給与 1,372 万 5,601 円、塵芥収集運搬業務委託 3,004 万 9,854 円等で、項 2 塵芥処理費 4 億 2,029 万円は龍ヶ崎地方塵芥処理組合の負担金で、項 3 廃棄物減量推進費 2,263 万 8,960 円、清掃費が利根町の一般会計の約 10% を占めています。平成 20 年度のごみ収集量は、前年度比 116 トン減で……もとへ。16 トン減で、資源ごみも 104 トンの減です。

款 5 農林水産費は、支出済額は 2 億 3,485 万 9,606 円で、執行率は 98.8%、不用額は 262 万 7,394 円。不用額の理由は、款 1 農業費の目 4 生産調整推進対策事業における生産調整の面積が少なかったためです。

具体的には、項 1 事業費の目 1 農業委員会費 2,157 万 5,633 円は、職員給与費と事務局費が大半であり、農業委員報酬は 592 万 8,000 円で、20 年度の農地法許可届け出件数は、農地の権利移動設定が 18 件、面積は 4 万 2,325 平方メートルです。

目 2 農業総務費 3,817 万 6,288 円は、全額が職員給与費であります。

目 3 農業振興費 4,218 万 5,038 万円は、貸付金、償還金、利子割引料が中心で、この中に地産地消推進事業として利根町産業文化祭推進事業等で 100 万円の予算を支出し、20 年度は利根町地場産業フェスティバルが役場で開催されました。

目 4 水田農業対策費 3,390 万 2,162 円は、生産調整対策事業で 2,424 万 5,757 円が中心で、転作作物作付等 212 ヘクタール、1,209 万 5,507 円、担い手営農助成 121.5 ヘクタール、1,215 万 250 円を支出しています。

目 5 農地費 9,171 万 2,860 円は、農地の基盤整備、農道の整備費です。

項 6 農村環境整備 730 万 7,625 円は、利根町親水公園維持管理事業と集落センター運営事業で支出されています。

款 6 商工費は、支出済額が 1,655 万 1,572 円で、執行率 60.59%、不用額は 169 万 9,428 円です。主な不用額の理由は、中小企業事業信用保証料補助金の申請が少なかったためです。

具体的には、項 2 商工費、目 2 商工振興費の 962 万 1,610 円、中小企業事業資金信用保証料補給金 303 万 7,510 円を支出し、自治金融振興金融業者に対して信用保証料の一部を補給

し、融資件数29件、融資金額 1 億1,900万円でした。また、利根町商工会補助金310万円を支出しました。

目 3 観光費223万円で、利根町観光協会補助金200万円を支出、ことしも納涼花火大会が開催されました。

款 7 土木費の支出済額は 3 億8,813万1,572円で、執行率60.59%、不用額は722万206円です。低執行率の理由としては、スーパー堤防事業関係の 2 億4,518万7,000円の翌年度繰り越しによるものです。不用額の理由は、項 2 道路橋梁費の148万82円で、委託料の土木作業員の派遣日数が少なかったこと、また、項 4 都市計画の516万1,600円で、上曽根運動公園関係事業が安価で行えたためです。

具体的な事業は、項 1 土木管理費172万2,850円で地籍調査事業を行い、項 2 道路橋梁費 1 億2,934万2,918円は、目 1 総務費5,463万4,261円は職員給与と道路橋梁関係共通費で、目 2 道路維持費7,230万9,683円は道路維持管理事業1,354万2,884円、道路維持工事業1,642万2,000円、町道除草工事業704万5,500円、利根浄化センター周辺生活環境整備事業3,050万2,500円で、良好安全快適な道路環境を維持、提供しました。

項 3 河川費 1 億2,103万5,632円は、スーパー堤防整備事業がほとんどでした。

項 4 都市計画費、総額 1 億3,603万3,394円は、総務費2,396万4,738円と公園費3,364万3,654円は公園事務事業と上曽根運動公園整備事業等が中心です。

目 3 下水道費7,842万5,000円は、公共下水道事業特別会計への繰出金です。有料公園の利用状況は、利根緑地野球場1,627人、テニスコート4,416人、上曽根運動公園テニスコート7,834人、四季の丘テニスコート1,332人と多くの町民が利用しています。

款 8 消防費の支出済額は 3 億2,464万6,939円で、執行率は96.19%、不用額は1,286万61円で、その主な理由は、消防団退団者が少なかったこと、また災害出動が少なかったためです。

具体的には、項 1 消防費の目 1 常備消防費は 2 億4,957万7,000円、全額が広域消防費で稲敷地方広域市町村圏事務組合関係の負担金です。

目 2 非常備消防費2,368万3,067円は利根町の消防団関係の支出で、団員201人分の報酬546万4,414円、退団した15人の団員への報償費479万8,000円、団員の健康診断委託費110人分、92万4,000円、操法運営費、出初め運営費、訓練や出動の費用弁償費等が含まれています。

項 3 消防施設費3,641万3,546円は、消防施設維持管理が全額で、備品購入費1,606万5,000円の消防ポンプ自動車の購入分、防火水槽給水装置設備工事の 7 件、消火栓設置工事17件の負担金、分団車両の車検など整備、修繕に支出しました。

また、目 5 防災費1,211万9,926円は、救助用ゴムボート一式の購入334万9,500円、災害時非常用発電機購入179万5,500円、防災行政無線保守点検165万9,000円、防災非常食購入37万9,050円に支出しました。

特別委員会における質疑は、消防団員の充足、処遇、機能別消防団構想、防火施設の拡充に集中しました。

款 8 教育費の支出済額は 4 億 8,058 万 5,326 円で、執行率は 95.34 %、不用額が 2,346 万 4,674 円です。この不用額は、項 1 教育総務費の 432 万 8,376 円と項 2 小学校費 716 万 1,123 円、項 3 中学校費 564 万 1,332 円、項 4 社会教育費 570 万 4,572 円です。主な不用額の理由は、時間外手当と臨時調理師の賃金が少なかったため、また小中学校の光熱水費が少なかったためです。

項 1 教育総務費は 1 億 8,119 万 3,622 円を支出、目 1 教育委員会費 162 万 3,210 円はすべて教育委員会活動費で、定例会が 12 回、臨時会が 1 回、研修会に 2 回参加しており、教育委員報酬 117 万円と会議録テープ反訳業務委託料 39 万 5,010 円がほとんどで、議案 27 件、報告 13 件の審議が行われました。

項 2 事務局費 1 億 1,743 万 3,674 円は、職員給与費 8,976 万 5,690 円と学校給食運営事業の給食調理師 13 人分の賃金 1,189 万 360 円と各種の負担金、私立幼稚園就園奨励補助金 174 人分の 1,374 万 2,700 円です。

目 3 語学指導事業では 861 万 8,235 円を支出し、児童生徒の英語学習を推進するため、2 名の指導助手を中学校に 2 名派遣、小学校には 1 学校について年間 20 回訪問し、英語や外国文化に対する関心を高めるために取り組んできました。ALT は、9 月から 3 月は委託で、予算は報酬と委託で計上しています。

目 4 教育研究指導費は 2,051 万 8,503 円支出し、TT、ティーチング・ティーチャーといいますが、複数の教師による学習指導、非常勤講師や生活指導員を小学校 3 校に配置、教育研究指導員、小学校教育内容及び活動への指導、助言、相談活動を配置、心の教室相談では 359 件の相談に対応し、問題発展の防止に効果を上げました。

項 2 の小学校費は 1 億 1,627 万 6,877 円、目 1 学校管理費は 1 億 10 万 9,874 円、そのうち、職員給与費が 4,000 万 7,516 円、運営費が 3,032 万 8,002 円、設備整備事業 558 万 3,900 円、施設維持補修事業 1,693 万 1,534 円が中心で、13 件の維持補修、全 60 件の修繕を行い、施設の整備補修で安全性を高めるために努めました。

目 2 教育振興費 580 万 8,669 円は、教育助成事業費として運動会や卒業式の賞品、記念品に活用されました。また、要保護・準要保護児童就学援助事業は 185 万 5,458 円を支出、学用品、修学旅行、給食費、医療費等にかかわる費用の援助を、準要保護の対象者 30 名に措置しました。

なお、現在、利根町では、経済的な理由で不登校、長期欠席の児童はいないとのこと です。

目 3 学校給食費 1,034 万 7,334 円は、3 校の給食運営事業、給食設備整備事業、給食維持補修事業に支出し、生徒に安全な給食を自校調理方式で 3 校合わせて 1 日平均 847 食を提供しました。

項 3 中学校費5,250万4,668円は、目 1 学校管理4,231万1,030円、そのうち職員給与費1,633万1,604円、中学校運営事業、生徒管理事業、設備整備事業、施設維持補修事業 9 件、中学校対外試合補助金に支出しました。

目 2 教育振興費468万2,125円は、中学校教育助成事業として卒業式の記念品や体育実技副読本の購入、また要保護・準要保護生徒就学援助費199万2,940円は、学用品、通学用品、校外活動、修学旅行、給食、医療費等にかかわる費用の援助を22名の就学困難な生徒に対し措置しました。

なお、利根町では、現在、経済的な理由による不登校及び長期欠席の生徒はいないとのこと。

目 3 学校給食費548万5,790円、自校方式による給食で、生徒に安全な給食を提供しています。1日の調理数は平均414食です。

項 4 社会教育費 1 億5,886万9,428円は、目 1 社会教育総務費8,860万6,331円は、ほとんどが職員給与費で、成人式典事業もこの中に含まれ、平成20年度は、対象者189名中159名が出席しました。

目 2 公民館費1,821万3,721円は、管理事業費1,638万8,389円以外に文化芸術事業 2 回やっております。家庭教育セミナー12回、189名が参加、公民館講座事業10講座で1,488名が参加して、これらに支出。年間の利用者は2,372団体、4万8,571人でした。

目 3 生涯学習センター費879万7,380円はほとんどが管理事業費で、利用状況は1,565団体、2万54人です。

目 4 郷土誌編纂費21万3,349円、目 5 文化財保護費10万1,342円、目 6 資料館費213万1,893円は、歴史民俗資料館の管理運営に支出、目 7 生涯学習事業費で116万3,650円を支出し、陶芸体験教室など教室が延べ16回、398人が参加しました。

目 8 柳田国男記念公苑事業425万1,383円は、維持管理の費用で集会室利用2,815人、見学者1,904人で、入場者は4,719人となっています。

目 9 図書館費2,664万8,902円は、管理運営事業費がほとんどで、図書購入費509万9,050円で3,243冊を購入しています。利用登録者は1万1,043人、蔵書冊数は13万7,140冊、貸出人数4万3,092人、貸出冊数は17万4,238冊、施設の利用状況は読書室など1,679人、主催行事には映画会13回、読み聞かせ47回など延べ604人が参加するなど、多くの住民が利用しています。

目10子ども教室推進事業費159万7,271円は、文小学校で5名の児童が月曜から木曜日までの午後2時から6時まで、英語の学習や植物の観察などさまざまな学習を行っています。

目11コミュニティセンター費714万4,116円は、全額は管理事業費として支出されており、平成20年度の利用者は1万5,158人でした。

項 5 保健体育費474万731円は、町民運動会事業費が105万6,226円、景品等で支出、約1,500人が参加しました。駅伝大会事業費は136万156円、利根緑地運動公園を中心に開催

し、全6部門、77チームが参加しました。

款10公債費 6億1,261万2,005円、執行率は99.9%で、項1公債費が同額、目1元金 5億2,331万9,299円で、同額は公債費元利償還金、目2利子8,929万2,706円となっています。

款11諸支出金は 6億3,014万5,000円で、執行率は100%、項1基金費が全額で、目1の財政調整基金費のほか、目12のがんばる利根町応援基金費まで、目7の利根町土地開発基金費への繰出金を除き、すべてが関係の基金積立金に積み立てられています。

款12予備費は、支出済額ゼロ円で、執行率ゼロ%です。

以上で、平成20年度の一般会計歳入歳出についての報告は終わりますが、冒頭、報告いたしましたように、20年度の歳入総額は54億6,166万448円に対し、歳出総額が52億7,730万255円、その差し引き額は 1億8,436万193円、翌年度繰り越すべき財源が6,279万1,212円ですから、実質収支額は 1億2,156万8,979円です。

職員の皆様の努力に対し、御礼を申し上げます。しかし、町の財政は年々厳しくなっています。地方税、地方譲与税、地方消費税交付金等が前年度より減少し、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金等が前年度より多かったために、20年度の歳入総額は確保されたものであります。

具体的に言えば、町民税は、全体で前年度比94.2%で6,028万6,021円の減で、個人、法人とも前年度比減となっています。町に納入される税全体でも96.1%、6,687万7,311円の減です。そうした中で、景気の悪化を反映し、町税における収入未済額が増加している感がいたします。収入未済額を1円でも少なくするよう努力していただきたいと思います。

同時に、不用額においては、節約執行に心がけ、時間外手当や委託費を少なくするなど、の努力も見られます。今後とも、一層需用費の節約に努力することを望みます。

決算特別委員会は、決算に対する質疑が中心で、その質疑に対しては担当課長等からお答えいただきました。委員の中からは、依然として委託業務費等に対し、随意契約でなく一般競争入札で予算の節約執行を図るべきとの指摘がなされています。今後とも努力をお願いします。

また、住民の安全安心を守る立場から、非常備消防費に関連し消防団員の拡充、さらに消防施設費に関連し防火水槽、消火栓設置に発言が集中したことを報告いたします。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論ありませんか。

まず、反対の方の発言を許します。

次に、賛成の方の発言を許します。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第59号 平成20年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第59号は可決することに決定いたしました。失礼しました。議案第59号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第2、議案第60号 平成20年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第60号 平成20年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件について報告します。

平成21年9月4日付、付託されました上記の議案を審査し、その結果、原案を認定するものとして可決しましたので、会議規則第77条の規定により報告いたします。

特別委員会は、9月10日午前10時より、委員出席のもと町長初め、教育長、課長、担当職員が出席し、審議を行いました。

最初に、事業勘定について報告します。

歳入総額20億1,576万5,230円、歳出総額18億6,226万3,939円、差し引き残額1億5,350万1,291円で、執行率は94.3%です。

主なものについて申し上げます。

まず、概要ですが、平成20年度末の国保加入者は6,068人、このうち一般被保険者が5,621人、退職被保険者が447人で、世帯数は3,141世帯です。平成20年度より後期高齢者医療制度が実施されたことにより、75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したため、約1,400人の減となっています。

具体的な決算内容は、款1総務費4,656万334円で、執行率は96.4%、職員の人件費や事

務費、国保連合会負担金、国保運営協議会です。

款 2 保険給付費11億6,298万1,608円は、前年度に比較し4.1%の減ですが、これは退職被保険者医療費の減によるものです。

款 3 後期高齢者支援金 2 億3,992万4,684円は、国保被保険者から後期高齢者にかかる医療費負担分を納付するものです。

款 5 老人保健拠出金8,676万4,435円は、前年度比71.1%の減ですが、これは医療制度改革により老人保健制度が19年度に廃止されたために減になったものです。

款 6 介護給付金 1 億2,239万1,560円は、前年度比12.1%の減です。

款 7 共同事業拠出金 1 億5,696万3,734円は、前年度比5.5%の増で、これは高額医療費の増による保健財政共同安定化事業拠出金の増によるものです。

款 8 保健事業費1,788万9,275円は、前年度比101.7%の増で、これは特定健康診査事業による増で、健診者は1,352人です。別に人間ドック、脳ドック243人が受診しました。

款 9 基金積立金は2,319万円で、平成20年度末の財政調整基金残高は8,756万9,000円となります。

次に、施設勘定について報告いたします。

施設勘定は、歳入総額 1 億2,804万6,819円、歳出総額 1 億689万6,819円で、執行率は94.4%で、前年度比752万円の減です。

款 1 総務費6,689万8,983円は、職員の人件費や診療に必要な経費、施設の維持管理費です。

款 2 医業費3,179万1,947円は、医薬材料費が中心で、前年度比3.6%の増です。

款 3 基金積立金として820万4,000円を積み立てるものです。

歳入総額から歳出総額を差し引いた2,115万1,889円は、翌年度に繰り越しになります。

今年度の診療所の患者数は1万737人で、前年度より520人の増で、1日当たりの患者数は56.4人で、前年度より0.6人の増です。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第60号 平成20年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第60号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第3、議案第61号 平成20年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第61号 平成20年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について報告をいたします。

平成21年9月4日付、付託された上記の議案を、9月10日、町長、教育長、課長、担当職員、そして全委員が出席し、慎重に審査し、その結果、原案を可決認定しましたので、会議規則第77条の規定により報告をいたします。

老人保健特別会計の概要ですが、平成19年度で同制度は廃止になったことにより、平成19年度の精算金及び平成20年3月診療分の1カ月の医療費に対する決算となっています。

平成20年度の受給者数は1,837人でした。

歳入総額は2億432万789円、歳出総額は1億7,527万7,538円で、執行率は96.1%です。

款1医療諸費1億2,653万199円で、前年度比89.9%です。これは、医療給付費の減によるもので、款2支出金4,874万7,339円は、平成19年度の精算に伴うもので、一般会計への繰出金です。

収入総額から歳出総額を差し引いた2,904万3,921円は、翌年度の繰り越しとなります。

以上、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第61号 平成20年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定の件を採

決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第61号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第4、議案第62号 平成20年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第62号 平成20年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件について報告をいたします。

平成21年9月4日付、付託されました上記議案を審査し、その結果、原案を認定するものと決定しましたので、会議規則第77条の規定により報告をいたします。

特別委員会は、会期中の9月14日、全員が出席、町長初め、教育長、課長、担当職員が出席し、審査をいたしました。

結果を報告します。

歳入総額3億7,512万2,066円、歳出総額3億6,843万8,971円、差し引き残額は668万3,197円、執行率は97.54%です。

款1下水道費、項1下水道費、目1の公共下水道費9,361万3,763円で、羽根野地区の下水道整備費で7,486万927円を支出しております。この中には、10年に1回行う下水道事業再評価業務委託費の262万5,000円も含まれています。

目2公共下水道維持管理費1億811万6,458円は、維持管理事務費9,167万3,636円が含まれ、霞ヶ浦常南流域下水道維持管理負担金7,413万円、使用料徴収事務費896万7,137円、維持管理工事費784万7,175円等が支出されています。

なお、利根町の水洗化率は94.54%となっており、平成20年度は羽根野地区の公共下水道整備を中心に行い、計画的な整備の推進に努めました。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第62号 平成20年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第62号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第5、議案第63号 平成20年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第63号 平成20年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件について報告をいたします。

平成21年9月4日付、付託されました上記議案を審査し、その結果、原案を認定するものと決定しましたので、会議規則第77条の規定により報告をいたします。

委員会は、開会中の9月10日、委員が出席し、町長、教育長、担当課長、担当職員の出席を求め、慎重な審査をいたしました。

審査の内容を申し上げます。

歳入総額は1,472万4,501円、歳出総額は1,321万5,968円で、差し引き150万8,533円が翌年度に繰り越しとなります。

事業の内容は、霊園の維持管理に伴うものであります。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第63号 平成20年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第63号は委員長の報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第6、議案第64号 平成20年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第64号 平成20年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件について報告をいたします。

平成21年9月4日付、付託されました上記の議案を審査し、その結果、原案を認定するもと決定いたしましたので、報告をいたします。

委員会は、開会中の9月11日、委員出席のもと、町長初め、教育長、担当課長、担当職員の出席を求め、慎重に審査しました。

それでは審査の内容を報告します。

歳入総額は8億8,359万3,434円、歳出総額が8億5,905万6,748円で、差し引き残額は2,453万6,686円でした。

事業内容を報告します。

介護認定者数は、要支援1から要介護6まで合計545人、また居宅介護支援サービス受給者数は、20年度3,713人です。施設介護サービス受給者1,108人で、月平均92.3件となっています。この結果、介護の必要性についての的確な審査業務を通じて認定業務を展開し、介護が適切に受けられたとともに、給付の制度により受給者の自立及び経済面に寄与することができました。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第64号 平成20年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りをいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第64号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第7、議案第65号 平成20年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第65号 平成20年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件について報告します。

平成21年9月4日付、付託されました上記の議案を審査し、その結果、原案を認定することを決定しましたので、会議規則第77条の規定により報告をいたします。

特別委員会は、開会中の11日、委員が出席のもと、町長、教育長、担当課長、担当職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

報告いたします。

歳入総額は1,113万2,841円、歳出総額は922万7,542円で、差し引き190万5,299円です。

事業内容を申し上げます。

要支援認定者への居宅での自立した日常生活を支援することが中心で、サービス事業費168万8,205円は全額居宅介護予防支援事業費で、介護予防ケアマネジメント業務委託費が中心で、諸支出金753万9,937円は全額一般会計への繰出金です。具体的には、包括支援センター429件、居宅介護事業所369件の利用があり、身体機能の維持向上に寄与し、家庭介護者の負担を軽減する役割を果たしました。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第65号 平成20年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第65号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第8、議案第66号 平成20年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第66号 平成20年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件について報告します。

9月4日に付託された上記の議案を審査し、その結果、原案を認定することを決定しましたので、会議規則第77条の規定により報告をいたします。

特別委員会は、開会中の10日、委員が出席のもと、町長、教育長、課長、担当職員の出席を求め、慎重な審査を行いました。

その結果を報告いたします。

後期高齢者医療制度は、平成20年度より創設されたもので、20年度末の保険給付者数は1,910人です。

歳入総額は2億2,255万5,664円、歳出総額は2億2,043万3,902円で、執行率は99.8%、差し引き額は212万1,762円で、翌年度に繰り越しとなります。

款1 総務費1,049万8,636円は一般事務費で、具体的には後期高齢者健康診断業務委託料及び広域連合共通経費です。

款2 後期高齢者医療広域連合納付金2億993万5,266円は、後期高齢者医療の保険料及び

市町村公費負担金並びに保険基盤整備分として広域連合に納付するものであります。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第66号 平成20年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第66号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第9、議案第67号 平成20年度利根町水道事業会計決算認定の件を議題といたします。

委員長から委員会審査の経過及び結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員長高木博文君登壇〕

○決算審査特別委員長（高木博文君） 議案第67号 平成20年度利根町水道事業会計決算認定の件について報告いたします。

平成21年9月4日に付託された上記の議案を審査し、その結果、原案を認定するものと決定いたしましたので、会議規則第77条の規定により報告いたします。

特別委員会は、開会中の11日、委員出席のもと、町長、教育長、担当課長、担当職員の出席を求め、慎重な審査を行いました。

審査の内容を報告いたします。

年度末における給水戸数は6,339戸で、前年度比30戸、0.5%の増で、年間配水量は184万7,383立米、2.8%の減です。年間有収水量率は91.6%、総収益は4億236万9,477円、前年度比1.8%減です。

内訳は、営業収益が3億8,855万2,079円、営業外収益は1,381万7,398円。

営業収益の内訳は、給水収益 3 億 8,778 万 8,947 円、前年度より 2.6% 減、営業収益に占める割合は 99.8% です。受託工事収益 22 万 132 円、前年度比 24.3% 減、その他の営業収益は 43 万 3,000 円、前年度比 1.4% 減です。

営業外収益は、受取利息が 991 万 5,441 円、前年度比 66.9% 増、分担金収入 273 万円で、前年度比 28.2% 減、雑収益 97 万 7,957 円、前年度比 30.65% 増であります。

費用総額は 3 億 2,069 万 6,193 円、前年度比 4.6% 減であり、内訳は、営業費用 3 億 1,685 万 2,251 円、前年度比 3.6% 減、営業外費用 349 万 5,372 円、前年度比 50.4% 減、特別損失は 34 万 8,570 円、前年度比 49.7% 増です。

この結果、今年度純利益は 8,167 万 3,284 円です。資金的収支状況は、資金的支出が 6,850 万円、資金的収入は 1,328 万 2,500 円、この結果、収支差し引き 5,522 万 3,296 円の不足が生じました。この不足額について、当年度分消費税、資金的収支調整額、過年度分内部留保金及び減価積立金で補てんいたしました。

以上で、報告を終わります。

○議長（若泉昌寿君） 委員会審査の経過及び結果の報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第 67 号 平成 20 年度利根町水道事業会計決算認定の件を採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案を認定するものです。

お諮りをいたします。

本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第 67 号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

暫時休憩します。

再開は 11 時 25 分といたします。

午前 11 時 09 分休憩

午前 11 時 25 分開議

○議長（若泉昌寿君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

○議長（若泉昌寿君） 日程第10、議員提出議案第3号 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書を議題といたします。

提出議案の説明を求めます。

提出者、利根町議会議員岩佐康三君。

〔12番岩佐康三君登壇〕

○12番（岩佐康三君） 議員提出議案第3号 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書。

（提案理由）

平成21年度予算及び同年度第1次補正予算が可決成立しており、既に地方自治体の進めてきた施策や事業について財源問題で執行に支障が生じることのないよう要望するため提案する。

提出者	利根町議会議員	岩佐康三
賛成者	同	西村重之
賛成者	同	守谷貞明
賛成者	同	五十嵐辰雄

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出します。

地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書

新政権の発足とともに、民主党のマニフェストに示された政策・制度への変更が進められることになります。

一方、前政権下において、我が国が直面している未曾有の経済危機を克服するために、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算が可決成立しています。総額で14兆円を超えるこの予算には、地域活性化・公共投資臨時交付金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金、経済対策関連の自治体に交付される15の基金などの創設等が計上されており、各地方自治体は、当該基金などの活用を前提に、経済危機対策に資する事業を計画し、補正予算の議決と事業の執行を目指して、準備を行っているところです。

新政権によって、前述の経済危機対策事業についての予算執行が見直されることになれば、すでに、関連事業を執行中あるいは、執行準備が完了し、当該事業の広報・周知が済んでいる地方自治体にとって、誠に憂慮すべき事態の発生が懸念されます。

万一、関係事業を中止せざるを得ない事態になれば、地方自治の混乱を招くだけでなく、地域雇用情勢にも深刻な打撃を与え、経済対策の効果によって、景気底入れから成長に転じる兆しの出てきた日本経済に悪影響を及ぼしかねない恐れがあります。

上記の状況を考慮し、政府におかれましては、政策の見直し、税制の改革、制度の変更にあたっては、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算によって、地方自治体の進めてきた施策や事業について財源問題で執行に支障が生じることのないよう行われることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成21年9月16日

茨城県北相馬郡利根町議会

送付先につきましては、今、組閣がされて、きょう、発表されると思いますので、はっきり次第、名前も入れて提出したいと思いますが、とりあえず役職名だけ読み上げます。

内閣総理大臣

総務大臣

財務大臣

以上でございます。

○議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

これから議員提出議案第3号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議員提出議案第3号 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立多数です。したがって、議員提出議案第3号は原案のとおり可決されました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第11、請願第1号 「気候保護法（仮称）」の制定を求める請願書を議題といたします。

これより紹介議員に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

請願を採択することに対する討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、請願第1号 「気候保護法（仮称）」の制定を求める請願書を採決いたし

ます。

お諮りいたします。

請願第1号を採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、請願第1号は採択することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第12、常任委員会の閉会中の所管事務調査の件を議題といたします。

各常任委員長から、所管事務のうち、会議規則第75条の規定によってお手元に配付しました所管事務の調査事項について、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。したがって……。

〔「配られてないんじゃない」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 何ですか。

〔「文書がない」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 文書がない。事務局、文書配付。

じゃ、後ほど配付します。

異議なしと認めます。したがって、委員長からの申し出のとおり閉会中の継続調査することに決定いたしました。

○議長（若泉昌寿君） 日程第13、議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件を議題といたします。

議会運営委員長から、所掌事務のうち、会議規則第75条の規定によってお手元に配付しました……。

〔発言する者あり〕

○議長（若泉昌寿君） これも後ほど配付いたします。

所掌事務の調査事項について、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。したがって、委員長からの申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

続いて、町長から発言を求められておりますので、これを許します。

町長遠山 務君。

〔町長遠山 務君登壇〕

○町長（遠山 務君） 平成21年第3回定例会の閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

9月3日から本日まで、通算14日間にわたり行われました今期定例会では、今年度の各会計における補正予算を初め、条例の改正や平成20年度決算認定など、合計23件の案件につきましてご提案申し上げたところでございますが、議案第46号を除き、その他の議案は原案どおり可決並びに承認をいただきまして、心より御礼を申し上げます。

このたび否決となりました議案第46号の利根町課等設置条例の一部を改正する条例につきましては残念に思いますが、審議結果は結果として真摯に受けとめ、皆様方からいただきましたご意見等を参考にしながら、今後、その内容につきましてさらなる検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。

今年度も、間もなく事業展開の折り返しの時期に差し掛かります。今後も、引き続き一つ一つ、一步一步、着実に事業の有効かつ効率的、能率的な執行に当たるとともに、本定例会の期間中、一般質問や議案の審議の過程におきまして議員の皆様方からいただきました貴重なご意見やご提言につきましては、今後の行政サービスに反映できるよう鋭意努力してまいりたいと考える次第でございます。

今後、国の政権交代などによる社会経済情勢の変化、引き続き非常に厳しい景気、7月の完全失業率におきましては5.7%と過去最悪を記録するなど、生活に影響を及ぼす要因が数多くございますが、定例会初日の所信表明の中でも申し上げましたとおり、私は、この4年間をかけ、県一番の子育て環境のよいまちづくりに全力を投入していく所存でございます。

今後とも、なお一層のご支援とご協力、ご理解をお願い申し上げ、定例会閉会に当たってのあいさつといたします。長時間にわたるご審議、大変ご苦労さまでした。

○議長（若泉昌寿君） 発言が終わりました。

○議長（若泉昌寿君） 以上で、本定例会の議事日程は全部終了いたしました。

これをもちまして平成21年第3回利根町議会定例会を閉会いたします。

なお、次回の12月開会予定の第4回定例会は、12月4日金曜日を予定しております。

どうもお疲れさまでございました。

午前 11時38分閉会

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する

利根町議会議長 若 泉 昌 寿

署 名 議 員 飯 田 勲

署 名 議 員 岩 佐 康 三